学校番号	3031

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「地理探究」（二宮書店）　「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE2024」（帝国書院） 「データブック･オブ･ザ･ワールド 2026 年版」（二宮書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○地理を理解するための地理的知識を，授業の中でしっかりと押さえること
○地理的事象に「なぜ」という疑問をもち，論理的に理解すること
○地理的事象やデータ，資料を多面的・多角的に捉え，分析すること
　これらを軸として地理について学習し，地理的な諸課題を探究することを通して持続可能な社会を形成することにつなげてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性，傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して，現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに，系統地理的な考察方法を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
　選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して，現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに，地誌的な考察方法を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
　我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を探究する学習を通して，日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに，探究の手法を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 ○地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的･多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地形	1.世界の地形と地形をつくる力 2.プレートの運動が地形におよぼす影響 3.地震と火山 4.造山運動と世界の陸地 5.河川がつくりだす地形 6.海岸にみられる地形 7.さまざまな環境で形成される地形	a:地形に関わる諸事象の規則性，傾向性や，人間による利用などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて，地形の形成に関する様々な情報を適切に読み取り，まとめることができる。 b:地形の分布や成因などに注目して，「平野の地形はどのように利用されてきたのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:地形とその利用について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	気候と生態系	1.水の循環と利用 2.海洋の循環 3.大気の大循環と気候 4.気候の地域性 5.植生と土壌	a:気候と生態系に関わる諸事象の規則性，傾向性や，気候の地域性などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて，ハイサーグラフなど気候と生態系に関する情報を適切に作成することができる。 b:大気大循環のしくみや影響などに注目して，「地域による気候の違いにはどのような背景があるのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:気候の変化と生態系の維持について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	世界各地の自然と生活	1.世界の気候区分 2.熱帯の自然と生活 3.乾燥帯の自然と生活 4.温帯の自然と生活 5.亜寒帯と寒帯の自然と生活	a:世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性，傾向性や，気候区分の方法などについて理解することができる。統計やGISなどを用いて，気候に関するグラフを適切かつ効果的に読み取り，まとめることができる。 b:気候の特徴と人々の暮らしとの関係性に注目して，「厳しい自然環境の中で人々はどのように工夫して暮らしているのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:世界各地の自然と生活について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	日本の自然環境と防災	1.日本の地形 2.日本の気候 3.日本の自然災害と防災	a:日本の自然環境に関わる諸事象の規則性，傾向性や，自然災害などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて，防災に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:日本の自然環境と自然災害の関係などに注目して，「自然災害にどのように対処すればよいだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:日本の自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	地球環境問題	1.環境問題に関する大観 2.越境する汚染 3.地球温暖化の現状 4.地区う温暖化への対策	a:地球環境問題に関わる諸事象の規則性，傾向性や，持続可能な開発のあり方などについて理解することができる。地図やGIS などを用いて，地球環境問題に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:気候や環境の変化などに注目して，「地球温暖化は生態系や人間生活にどのような影響を与えているのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:地球環境問題について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	農林水産業	1.農業の諸条件 2.社会の発展と農業の変化 3.グローバル化・技術革新と農業 4.林業 5.水産業 6.食料問題	a:農林水産業に関わる諸事象の規則性，傾向性や，食料問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて，農林水産業に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:農林水産業の条件や変化などに注目して，「世界の栄養不足人口の分布に地域的な偏りがあるのはなぜだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:農林水産業の変化について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	資源・エネルギー	1.社会の発展と資源の利用 2.世界の鉱産資源 3.世界のエネルギー資源とその課題 4.電力の利用と変化	a:資源・エネルギーに関わる諸事象の規則性，傾向性や，資源・エネルギー問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて，資源・エネルギーに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:資源産地の分布や消費地との結びつきなどに注目して，「資源の産出と消費にはどのような地域的な特徴と地域的結びつきがみられるか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:資源・エネルギーの生産と消費について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	工業	1.社会の発展と世界の工業化 2.工業の立地 3.工業地域の形成と変化 4.自動車工業の特徴と日本の海外生産 5.国際分業の進展と多国籍企業 6.工業生産のグローバル化に伴う諸課題	a:工業に関わる諸事象の規則性，傾向性や，工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて，工業に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:工業立地や変化などに注目して，「知識集約型産業は今後どのように展開していくのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:工業の発展について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	第3次産業	1.サービス経済化と社会の変化	a:第3次産業に関わる諸事象の規則性，傾向性や，サービス経済化の現状や要因，問題の解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて，第3次産業に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:産業構造の変化に注目して，「サービス業の需要の拡大と発展は社会にどのような影響をもたらすのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:産業構造の変化について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	交通・通信	1.世界を結ぶ交通 2.世界を結ぶ通信	a:交通・通信に関わる諸事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や GIS などを用いて，交通・通信に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:交通・通信手段の発達や利用に関わる課題などに着目して，「通信手段の発達はどのような生活の変化や課題を生じさせているのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:交通と通信の発達について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	貿易・観光	1.世界を結ぶ貿易 2.世界と日本の貿易と課題 3.世界を結ぶ資金の流れ 4.世界を結ぶ観光とその課題	a:運輸，観光に関わる諸事象の空間的な規則性，傾向性や，貿易・観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や GIS などを用いて，貿易・観光に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:貿易の構造や人・物・資金の流れなどに着目して，「地域的な経済連携は，なぜどのように進められてきたのか」や「観光は経済や観光にどのような影響を与えているのか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:経済連携の進展や観光の多様化について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
後期	人口	1.人口の推移と分布 2.人口構成と人口転換 3.人口移動 4.人口増加地域、減少地域の人口問題	a:人口に関わる諸事象の空間的な規則性，傾向性や，人口問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や統計などを用いて，人口に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:人口の推移，分布，移動などに注目して，「世界の人口分布や各国の年齢別人口割合は今後どのように変化するだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:世界及び日本の人口問題について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	村落・都市	1.集落の成り立ちと機能 2.都市の成り立ちと機能 3.世界の都市・居住問題と解決への努力	a:村落・都市に関わる諸事象の空間的な規則性，傾向性や，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。地図やGISなどを用いて，村落・都市に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:集落の機能や形態などに注目して，「都市の居住問題の背景には何があるのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:世界の都市問題について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	生活文化と言語・宗教	1.生活文化と地域 2.世界の衣服 3.世界の食生活 4.世界の住居 5.世界の言語 6.世界の宗教	a:生活文化と言語・宗教に関わる諸事象の空間的な規則性，傾向性や，民族問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。地図や GIS などを用いて，生活文化と言語・宗教に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:世界の衣食住や言語・宗教の地域性などに着目して，「世界各地で主食が異なるのはなぜだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:生活文化と言語・宗教について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	国家とその領域	1.国家の形成と領域 2.世界の民族・領土問題 3.日本の領域・領土に関する問題 4.海洋国家としての日本 5.国際連合の役割と課題	a:国家とその領域に関わる諸事象の空間的な規則性，傾向性や，領土問題の現状や要因，解決に向けた取組などについて理解することができる。地図やGIS などを用いて，国家とその領域に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめることができる。 b:国家の特徴や国家の結びつきなどに着目して，「民族紛争や領土問題の背景には何があるのだろうか」などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c:民族・領土問題について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	中国	1.経済の改革開放による変化 2.経済発展を支える人口 3.経済発展を支える農業の地域性 4.経済・産業の発展と現代の生活 5.経済成長と国内外の課題	a:中国の歴史的背景や経済，鉱工業，人口，民族，自然，農牧業について，経済成長と関連づけながらその特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:中国の歴史的背景や経済，鉱工業，人口，民族，自然，農牧業について，経済成長と関連づけながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:中国の経済成長に着目し，様々な分野における日本をはじめ世界への影響力について関心を高め，それを意欲的に追究しようとしている。	・ワークシート	・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	朝鮮半島	1.東アジアのなかの朝鮮半島 2.朝鮮半島の文化と経済発展 3.韓国の課題と国際関係	a:韓国の歴史的背景や，自然や文化，産業，都市や人口に関わる問題について，日本を含む環日本海地域との関係を関連づけながらその特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:韓国の歴史的背景や，自然や文化，産業，都市や人口に関わる問題について，日本を含む環日本海地域との関係を関連づけながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:隣国である韓国の歴史的背景，自然や文化について，日本との関係もふまえつつ関心を高め，それを意欲的に追究している。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	東南アジア	1.東南アジアの成り立ちと多様な民族文化 2.自然環境と農業・食文化 3.工業化による発展と生活文化への影響 4.地域内外の経済関係と文化のつながり	a:東南アジアの歴史的背景や民族，自然，産業，地域間連携について，多彩な文化と関連づけながらその特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:東南アジアの歴史的背景や民族，自然，産業，地域間連携について，多彩な文化と関連づけながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:東南アジアの自然，資源，産業について，日本との関係を踏まえつつ関心を高め，それを意欲的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	南アジア	1.自然環境と人口 2.住民と文化 3.農業と農村 4.産業の発展とグローバル化	a:南アジアの歴史的背景や文化・民族，自然，人口，産業，経済連携について，その特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:南アジアの歴史的背景や文化・民族，自然，人口，産業，経済連携について，世界各国との関係と関連づけながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:南アジアの自然，産業，経済成長にともなう国際連携について，日本との関係を踏まえつつ関心を高め，それを意欲的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	西アジア・中央アジア	1.多様な自然環境 2.民族と文化 3.資源開発の進展と生活の変化 4.地域紛争と国際関係	a:西アジア・中央アジアの歴史的背景や文化，民族問題，自然，農牧業，資源について，二つの地域を比較しながらその特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:西アジア・中央アジアの歴史的背景や文化，民族問題，自然，農牧業，資源について，二つの地域を比較しながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:西アジア・中央アジアの自然，資源・産業，文化・生活について，二つの地域を比較しながら関心を高め，その類似点や差異を意欲的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	北アフリカ・サブサハラアフリカ	1.自然環境と農業 2.歴史と文化 3.産業と経済発展 4.地域紛争と国際関係	a:北アフリカ・サブサハラアフリカの歴史的背景や民族，自然，産業，経済構造について，二つの地域を比較しながらその特色や課題を理解し，知識として身に付けることができる。 b:北アフリカ・サブサハラアフリカの歴史的背景や民族，自然，産業，経済構造について，二つの地域を比較しながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:北アフリカ・サブサハラアフリカの自然や民族・文化について，二つの地域を比較しながら関心を高め，その類似点や差異を意欲的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	ヨーロッパ	1.統合するヨーロッパ 2.統合の背景としての文化の多様性 3.自然と農業の地域性と共通農業政策 4.エネルギー・工業と貿易・交通の変化 5.ヨーロッパの変化と課題	a:ヨーロッパの歴史的背景や民族，自然，農牧業，鉱工業，貿易と交通，地域連携について，その特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:ヨーロッパの歴史的背景や民族，自然，農牧業，鉱工業，貿易と交通，地域連携について，世界各国との関係と関連づけながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:ヨーロッパの自然,農牧業，鉱工業，民族について，日本との関係を踏まえつつ関心を高め，それを意欲的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	ロシア	1.自然環境と民族・文化 2.体制転換と産業の変化 3.ロシアと世界の結びつき	a:ロシアの歴史的背景や民族，自然，産業の変化，地域格差，交通について，その特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:ロシアの歴史的背景や民族，自然，産業の変化，地域格差，交通について，世界各国との関係と関連づけながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:ロシアについて，歴史的背景に着目し，産業・生活の変化，世界との結びつきに関して，隣国日本との関係を踏まえつつ関心を高め，それを意欲的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	アングロアメリカ	1.自然環境の多様性と自然災害の特徴 2.社会の多様性と多文化社会 3.世界をリードする農業と産業 4.地域内外との政治的・経済関係	a:アングロアメリカの歴史的背景や民族・文化，自然，産業，都市・居住問題，世界との結びつきについて，その特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:アングロアメリカの歴史的背景や民族・文化，自然，産業，都市・居住問題，世界との結びつきについて，日本をはじめ世界各国との関係と関連づけながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:アングロアメリカの自然，産業，民族・文化について，日本との関係を踏まえつつ関心を高め，それを意欲的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	ラテンアメリカ	1.多様な自然環境と農業 2.混ざりあう民族、拡大する都市 3.鉱工業の移り変わり 4.地域内外との政治的・経済的関係	a:ラテンアメリカの歴史的背景や民族，自然，産業，貿易，社会問題，経済連携について，その特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:ラテンアメリカの歴史的背景や民族，自然，産業，貿易，社会問題について，日本や環大西洋地域との関係と関連づけながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:ラテンアメリカについて，歴史的背景や民族，貿易について，環大西洋地域との関係を踏まえつつ関心を高め，それを意欲的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り
	オーストラリア	1.自然と農牧業・鉱工業 2.多文化主義の社会と大都市の発達 3.世界との結びつき	a:オーストラリアの歴史的背景や民族，自然，産業，世界との結びつきについて，その特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:オーストラリアの歴史的背景や民族，自然，産業，世界との結びつきについて，日本をはじめ世界各国との関係と関連づけながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:オーストラリアについて，自然，産業，貿易について，日本をはじめ世界各国との関係を踏まえつつ関心を高め，それを意欲的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	ニュージーランドと島嶼国	1.オセアニアのなかのニュージーランド	a:ニュージーランドと島嶼国の歴史的背景や民族・文化，自然，農業について，その特色や課題を理解し，知識として身につけることができる。 b:ニュージーランドと島嶼国の歴史的背景や民族・文化，自然，農業について，日本をはじめ世界各国との関係と関連づけながら考察し，さまざまな課題や今後の日本との関係について多面的・多角的に思考したことを適切に表現することができる。 c:ニュージーランドや島嶼国について，歴史的背景や民族・文化，自然，農業について，日本をはじめ環太平洋諸国との関係を踏まえつつ関心を高め，それを意欲的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

	現代日本に求められる国土像	1.2050 年の日本の姿 2.自然災害に強い国土をめざすには/産業の変化と持続可能な成長/人口減少社会を活性化するためには/多文化共生社会の実現をめざして 3.国土像の探究 ～エネルギーの安定供給をめざして	a:自然災害や産業の変化，人口減少，多文化共生社会への対応など，現代世界における日本の国土の特色や諸課題について，個人や国，国際社会などからの多角的で客観的な視点を身につけることができる。日本がかかえる地理的な諸課題を探究する過程において，主体的に課題を設定して探究し発表するという過程を通し，課題解決への視点や方法を身につけることができる。 b:自然災害や産業の変化，人口減少，多文化共生社会への対応など，日本の国土や社会・経済の特色について，これまでの地図・系統的・地誌的学習をふまえ様々な視点から客観的に考察し，その過程や結果について適切に表現することができる。日本がかかえる地理的な諸課題の形成要因について考察し，その過程や結果，今後の改善策について適切に表現することができる。あるべき国づくりや地域づくりについて考察し，自分なりの国土像・地域像や国際関係を見い出し，その過程や結果について適切に表現することができる。 c:自然災害や産業の変化，人口減少，多文化共生社会への対応など，日本の国土や社会・経済の特色や諸課題について関心を高め，その解決の方向性や将来の国土のあり方について意欲的に追究しようとしている。「エネルギーの安定供給をめざして」の事例において，日本がかかえる地理的な諸課題に対する課題意識を高め，意欲的に探究しようとしている。さまざまな視点から多面的・多角的に分析・考察し，仮説の検	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ワークシートの記述 ・学習の振り返り	・ワークシートの記述 ・ワークブック ・学習の振り返り

			討を進めることにより，将来の国土像について積極的に展望しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度